

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4490100270		
法人名	医療法人 善昭会		
事業所名	グループホーム菜の花園 2		
所在地	大分市佐賀関335番地		
自己評価作成日	平成23年11月6日	評価結果市町村受理日	平成24年2月28日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	平成23年11月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームの理念として、その人らしく、自然と共に、地域と共にをかがけています。認知症が重度化しても、人間としての尊厳や権利を失わず最後までその人らしいあり方を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・自然に恵まれた立地条件を活かした利用者支援により、ホテルや花火の観賞、山や川などの四季折々の変化を日常的に体感することが出来ている。
- ・職員の言葉掛けや配慮が、利用者間の良い関係づくりや尊厳の維持に繋がっている。
- ・入浴を好む利用者・好まない利用者ともに、職員の声掛けや見守り、援助により、安全に快適な入浴支援が行われている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自然と共に地域と共に認知症が重度化しても、その方の尊厳や権利を損なわず、その方らしいあり方を目指した理念を作っている。	理念に表現された「その人らしさ」「自然」「地域」を念頭に置き、事業所環境や地域性を活かした利用者支援に努めている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育所や地区の交通安全、神社の草取り、まつりの参加に努めて行く様にしている。	地域から行事の案内や招待を受け、積極的に参加している。また事業所行事案内を回覧板で地域に知らせ、参加・協力を得ている。また、婦人会・ボランティアの継続的な訪問を受けている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	研修等には努めて参加し、運営推進会議などを通じて情報提供し、実習生なども積極的に受け入れている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所のサービス内容の報告などを中心として、意見、質問等を受け入れ、理解が深まるよう配慮している。	2か月に一度、同一敷地内のグループホームと合同で開いている。参加メンバーからの質問や提案は、地域行事への参加や管理者の認知症啓発活動として実践されている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日常的に交流もあり、運営推進会議のメンバーに市職員の方も参加されている。	話しやすい関係作りが出来ており、地域包括支援センター職員の訪問を受けることも多い。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルや研修参加報告などで徹底を図っている。	学びの場として外部研修を活用している。とくに、新入職員は、新人研修として積極的に取り組みを行っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法や虐待行為を発見した場合の対応について理解し、業務に当たっている。		

事業者名: グループホーム菜の花関2

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	都度、介護主任、CMを中心に説明やアドバイスをして利用者の支援につなげている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居決定時に入居のご案内や重要事項の説明を行い、事業所での取り組みや対応できるサービス範囲について理解をいただいている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	いつでも離せる関係作りを目指し、おたがいの近況を報告している。	毎月、利用者の情報を記入した事業所広報誌と、利用者の日常の写真を同封し、家族に送付している。また、家族アンケートを取り、事業所への意見を聞く取り組みを行っている。	家族が意見や希望を発言しやすい機会を作るなどの取り組みの工夫や、利用者への支援、事業所運営における家族との協働が行われることを期待したい。
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会を行い、全職員で顔を合わせて疑問や相談などを話し合い、又連絡ノートでも反映している。	2か月に1度、同一敷地内のグループホームと合同で、全職員参加の「定例会」として事業所行事や意見・希望などの話し合いが行われている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	意見や相談を出来るノートを設置している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	いつでも離せる関係作りを目指し、おたがいの近況を報告している。受講できるよう配慮している。受講した職員はレポートを提出し、職員は閲覧できるようにしている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修や講習に参加して、交流するようにしている。		

事業者名: グループホーム菜の花2

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談時には、特に本人の意向や希望を尊重し、安心できる入居生活を送れるよう努めている。入居後は不安等がないか、重点的に伺うよう努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	以前の、生活状況や趣味や職歴等、情報収集を家族より行い、今後できる範囲のケアについて説明をしている。入居後一定期間は、電話等で様子をお伝えするようになっている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時、本人や家族の要望を十分に伺い、ホームでの可能なサービスを一緒に検討し、できるサービスを行っている。(散髪・通院等)		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者と共に、掃除、洗濯物干しや洗濯物たたみ、食事や用意、片付け菜園での作業等と一緒にを行い、過ごしている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には、利用者の状況や日々の出来事での気づきを、面会時に細かく伝え、介護する立場の気持ちを共感できるように努めている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容院の利用等、地域の友人とのおしゃべりなど、今までの生活習慣を継続できるよう努めている。	同一敷地内のデイサービスセンターに通う友人の訪問を受けたり、利用者の教え子の訪問を受けることが、交流の継続に繋がっている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別の悩み事への傾聴。また、毎日のおやつ、レクリエーション、食事の時間では職員もその輪に入り、一緒に過ごすことで多くの会話を持つよう関わっている。		

事業者名: グループホーム菜の花関2

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスを終了しても、自由に遊びに来ていただけるよう、声かけを行っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のケアの中での関わりを通じ、言動から思いを推察する努力を心がけ、本人の意向や希望を伺うようにしている。また、その内容は家族にも伝えている。	日常支援の中で、利用者の「発言」や「行動」による把握だけでなく、利用者間の関係から生じる「思い」の理解、把握に努めている。	利用者の様々な情報や思いを、共有情報として記録に残すことにより、事業所全体での利用者支援に繋がることを期待したい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に、生活歴や職歴等を本人や家族から情報収集し把握に努めている。また入居後も必要により本人などから情報収集している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人ひとりの排泄パターンや心身状態、機能レベルを把握しケアにあたっている。また、毎日の申し送り時に、職員間で情報交換している。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者を担当制にして、担当者と計画担当者中心に、アセスメントと立案プランをカンファレンスにて全職員で検討し、個々の状態や希望に沿った介護計画を作成している。またケアカンファレンスを行い、状態に変化の合った方には、その都度職員や家族と話し合い見直しを行っている。	家族・担当ケアマネジャー・主治医からの情報を基に、24時間アセスメントシートを作成し、それを基に介護計画を作成している。3か月に1度モニタリングを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に介護記録を用意し、利用者の状態、気づきを記録している。また、投薬・バイタルチェック・食事量・排泄等のチェック表を作成し、職員間で情報を共有しやすいようにしており、介護計画に反映している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ショートステイや、デイサービスは行っていない。しかし、通院や入院等必要に応じて、送迎や解除等の支援を柔軟に対応している。		

事業者名: グループホーム菜の花関2

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練時には、毎回消防署職員と協力している。また、民生委員やボランティアへの声かけを行い、ホームへの協力をお願いしている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。定期往診として、2週間に一度往診がある。また、通院が必要な場合は、家族(必要に応じて職員)が同行し、適切な医療が受けられるよう支援している。	7名の利用者が提携医を掛かりつけ医としており、2週間に1度の往診が行われている。また、受診後は家族に報告を行っている。提携医以外の受診は日常の情報を提供し、家族対応で行われている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	隣接する事業所(デイサービス)看護職員やかかりつけの病院と協力して、健康管理や医療面での相談、助言の対応ができる体制をとっている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、必ず家族と職員が同行し、本人の情報を病院側へ提供している。また、必要に応じてお見舞いに行ったり、ご家族と情報交換をして退院支援に繋げている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期・看取りの指針を作成し、ご本人ご家族に説明している。また、十分に話し合いを行い、医師確認書を作成している。	「重度化した場合の対応にかかわる指針」を作成し、契約時に、家族に説明を行っており、職員間での共有も出来ている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを整備し、全職員に周知徹底を図っている。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	6ヶ月毎に、全職員と利用者、管轄消防署職員と行っている。また、運営推進会議内でも地域への協力をお願いしている。	地域で行われた津波想定での避難訓練に職員と利用者1名が参加している。その際の「気づき」が、避難時の課題として話し合われている。備蓄として、3～4日分のビスケット・水・カレーを非常食としてを準備している。	火災避難訓練時の、利用者の見守りなどの地域協力・支援の取り組みを期待したい。

事業者名: グループホーム菜の花関2

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員においては、常にプライバシーに配慮した言動を取るよう働きかけている。	職員の言葉かけやさり気ない配慮が、利用者の身体機能や介護度、理解度により生じる利用者間の摩擦軽減に繋がっており、利用者個々の誇りやプライドが守られている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一方的な押しつけのケアは行わず、全ては本人の意向、思いを確認し対応している。また、難聴の方にはホワイトボードでの筆談を行い、確認している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の流れ(掃除・おやつ・食事・入浴)はあるが、1人ひとりのペースや状態に合わせて進めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの美容院を家族と定期的に利用できるようにしている。また、一ヶ月毎に移動理容車を呼び、希望されるサービスを受けている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛りつけや片付けは、利用者と職員が一緒に行い、同じ物を食べている。メニューや調理は栄養士や調理員が作っているが、希望があれば、随時栄養士へ伝えて反映されるようにしている。	食事は三食とも外部委託され、デイサービス厨房で作られている。行事食(誕生会)、日曜日のおやつは、事業所で手作りされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は、栄養士が管理し、専門の調理員が調理し、食事の摂取量は個別に記録している。水分摂取は、入浴後に必ず進めている。また、日常より水分補給の重要性を説明し、超えかけしている。また、状態に応じてチェック表を作成し水分摂取量の記録・確認をしている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、歯磨きの介助(声かけ・見守り・確認)を行い、チェック表で記録・確認をしている。また、必要に応じて希望される歯科医師に、往診を依頼することもある。		

事業者名: グループホーム菜の花関2

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別の排泄チェック表と介護計画に沿ってトイレ誘導等の声かけを行っている。居室ではポータブルトイレを使用している方でも、日中はトイレでの排泄を勧めている。	トイレでの排泄を基本に、手すりの工夫、介助や声掛けの工夫に努めている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	おやつ時間に、ヤクルトなどの乳酸菌飲料や果物等の摂取を勧めている。また、毎朝ラジオ体操で、適度に身体を動かす機会を設け、自然排便に向けた取り組みをしている。また、便秘時(3日以上排便がない)には、かかりつけ医と相談し、排便コントロールを行っている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日入浴できるようにしており、1人ひとりの状況(ご希望や心身の状態)にあわせて柔軟な対応をしている。	毎日入浴する利用者や朝風呂を楽しむ利用者への安全な入浴支援が行われている。入浴拒否傾向の利用者に対しては、本人の「キーワード」を利用しての声掛けが行われ、無理強いすることなく入浴を楽しむ支援が行われている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、居室外で活動できるよう離床を勧めている。夜間では、不眠の方への対応として、適度なおしゃべり、温かい飲み物を提供したり、かかりつけ医と相談し、睡眠コントロールを行っている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人ひとりのファイルに処方薬の説明書を保存している。また、往診や通院、指示等は別に記録し、全職員がいつでも把握・確認できるようにしている。そして、他医療機関受診等で処方等変更時には、状態を含めた内容の情報提供を看護師・かかりつけ医に行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活に役割を持って過ごしていただけるように、掃除や洗濯物干し、洗濯物たたみ、食事の準備や片付け、熱帯魚や花のお世話、菜園での草取り等職員と一緒にしている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	天気や希望、健康状態に応じて戸外へ出かけるようにしている。	敷地内での移動販売の利用や、デイスービスへの行き来などの活用で、日常的な屋外活動が行われ、個別支援での買い物、集団でのお茶会や植物園への外出支援も実施している。	

事業者名: グループホーム菜の花関2

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	「お小遣い」という形で、事業所で管理している方もいるが、少額ならば希望により手元に置かれている方もある。また、希望される服屋さんを呼び、買い物できるようにしている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	不安や寂しそうな時には、状況に応じて伺い電話・FAXを発信する等希望される対応をしている。また、届いたFAXた手紙は状況に応じて、拡大コピーし、見やすくなるよう配慮している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の家具は木のぬくもりのあるものを使い、共有キャビネットには季節の花を置いている。また、食事やおやつの時間には、BGMを使い落ち着いた雰囲気作りを心がけている。	利用者の特技を活かした趣味の作品が共有空間に飾られ、利用者の安全に配慮した家具の配置や共有空間づくりに努められている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳の間があり、誰でも使えるようにしている。また少人数でくつろげるソファを設置している。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた馴染みのある家具や調度品等、自由に持ち込んでいただき、馴染みの物に囲まれた居室で過ごせるように配慮している。	居室の間違いを少なくするために、利用者の介護度に応じて、居室入り口の工夫をしている。また、トイレへの移動がスムーズになるよう、トイレへの導線に配慮した名札の取り付けを行っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・玄関・浴室・トイレ・居室(ベッド・窓)に手すりを設置している。また、各段差を低くして利用者の安全確保に努めている。		